

町 長	副町長	課 長	主 幹	担 当	合 議

別記様式第 4 号

会 議 等 結 果 報 告 書			
会議区分	会 議 ・ 打 合 せ ・ 協 議	文書番号	648
		決裁期日	平成 2 4 年 1 0 月 1 2 日
名 称	第 2 回観光開発審議会		
日 時	平成 24 年 10 月 11 日(木) 13 時 25 分 ~ 15 時 35 分		
場 所	役場 3 階第 3 会議室		
出席者	委員：宮下吉勝、長田公一、松田靖司、川上幸夫、佐川泰正、中西靖男 6 名 町：町長、産業振興課長、商工観光班主幹、担当主査 策定業者：北海道 21 世紀総合研究所 佐藤公一、布川勝治、岩谷祐子		
内 容	<p>開会（産業振興課長）</p> <p>（宮下会長）挨拶。答申まで残り少なくなってきた。本日は、10 月 26 日に観光振興計画素案のパブリックコメントに伴う住民説明会を行うことから、素案について、各委員からご意見をいただきたい。</p> <p>「1 観光振興計画の素案について」説明させていただく。</p> <p>（深山主幹）前回の情報交換会に協議した基本コンセプトの結果を報告。本日の協議事案の概要説明。</p> <p>（21 総研/佐藤、布川、岩谷）素案により、計画案の概要を説明。</p> <p>（宮下会長）計画案について、ご意見やご質問を伺う。</p> <p>（中西委員）34 頁のサブタイトルに 6 感とあるが、第六感（靈感）と誤解されるので、当初の 5 感とした方がよい。6 種や項目ならいいが。</p> <p>（21 総研/佐藤）町から「人とのふれあい」も観光客の思い出となると意見されたので、追加した経緯である。</p> <p>（中西委員）6 感は、一般的にオカルト的なイメージを持たれる。サブタイトルに「感」と使うなら 5 感にした方がよい。</p> <p>（佐川委員）「癒し」として感じる 5 感であり、6 感とすると複雑でわかりづらい。</p> <p>（中西委員）委員の投票で選ばれたのは「5 感で感じる上質の癒し空間へようこそ」であり、候補に 6 感はないため、当初のコピーに戻すべき。</p> <p>【当初の 5 感に戻すことを満場一致で決定】</p> <p>（佐川委員）44 頁の「グリーンツーリズムの強化」にエコツーリズムも含まれているのか。</p> <p>（21 総研/布川）「観光資源を生かした観光メニューの開発」にエコツーリズムが含まれる。</p> <p>（中西委員）49 頁取組事業 の案内板については、ハード整備よりも、時代はスマートフォンやナビであることから、パンフレットやホームページにマップコードを載せるべき。また、ホームページの外国語表記について、多言語で作成しても最新情報更新時に経費と時</p>		

間がかかるため、スピード感がないことと無駄な経費となる。外国人がグーグルで検索するときは自動翻訳ソフトを使うので、日本語・英語表記ぐらいでよい。多言語表記は最新情報更新の足かせになることから、やめた方がよい。16 頁に我が家の写真が掲載されているが、個人宅であり、公の計画書への掲載はやめてほしい。

(21 総研/佐藤) あくまでも写真はサンプルであり、掲載はしない。

(長田委員) 観光協会として看板設置は景観条例の趣旨から必要最小限に抑えている。マップコードについては、観光パンフレットには掲載しているがホームページは未掲載である。観光協会ホームページは多言語対応で作成したが、情報更新の翻訳に経費がかさむことから、多言語部分は最新情報に更新していない実態である。外国人の閲覧実態としては、翻訳ソフトで日本語の最新版のホームページを見ている。37 頁の宿泊入込数目標値 10 万人について、本町は宿泊キャパが少ないので、キャパと稼働率の実態を確認してから設定した方がよい。

(21 総研/佐藤) 入込数の設定は、後ほど町と協議したい。

(佐川委員) 計画の答申後、この取組事業案を実行していかなければならないが、本当に 6 年後実行できないのでは。行政はできるのか、支援できるのか。

(前田課長) 計画ベースでのアクションプランは実行性のあるものとした。また、39 頁の推進体制はあくまで将来的なイメージの体制として認識している。現実問題として観光協会の体制強化がなければ、全ての中心に観光協会があるこの体制イメージで推進できない。この 6 年間は、町と観光協会が連携して推進体制の中心を担うことと認識している。

(宮下会長) この推進体制の実行委員会はなかなか難しい。

(前田課長) この体制は将来イメージであり、まだ未検討であることで了承願いたい。

(21 総研/佐藤) 実行委員会・ワーキングは目途を定めて進めるべきである。

(宮下会長) 現在ある観光資源のインフラ整備をすべき。

(前田課長) 本日、町長ヒアリングがあったが、振興計画に基づいて実行するよう指示されている。

(長田委員) ワーキングではプロジェクトを 1 本でも取り組んでいければよい。そうすれば色々なワーキングを継続して進めていける。

(川上委員) 農協は推進計画に対し、位置的に遠い感覚である。今後、ワーキングで住民会や農業者を納得させて進めていけるかがカギである、利益が直接ない人たちの理解を得ることが大変である。スタッフ募集時にどのように参加させるのが難しい。進んで参加するような実行委員会にしてほしい。

(長田委員) 観光客が多く来ても、最終的には観光消費額の増加に繋がらなければ意味がない。

(松田委員) 観光の現場としては、多くの人があれば、それだけお金を落としていただけなので、入込増加は大事なことである。現場の受入体制(職員等)の質向上が必要となる。ゆるキャラ、マスコットも必要と感じる。町内や他のまちの要所に観光パンフがあまり置かれていない。もっと、観光客に対してわかりやすい場所に設置してもらおうべき。

(中西委員) グーグルのトップページに上富良野が載るような仕掛けをすべき。観光客は「ふらの」と打ち込んでいる、その検索結果に上富良野は載ってこない。ホームページのアクセス数アップは毎日、最新情報にアップロードすることにある。ホームページが一番お金のかからないツールであることから、もっと集中的にお金をかけて推進すべき。また、観光施設の住所、電話番号、マップコードはセットとして必ず掲載すべき。ちょっとした仕掛けで効果が上がる。いずれにしても観光協会自体の組織が強化されなければ入込増に繋がらない。現在の観光協会の実態は。

(長田委員) 職員は 2 人で女子職員がパートで 4 人いるが、週に 2 ~ 3 日の勤務シフトなので、実質的に 3 人体制で対応している。

(中西委員) ホームページの掲示板は、苦情に対する対応の早さが信頼度に繋がるが、観光協会の実態は。

また、観光客の口コミ情報は信頼度がある。

(長田委員)体制的にホームページの掲示板は開設していない。開設しても今の人数では電話照会だけでもオーバーフローしており、掲示板に書き込まれた苦情に対応できない。対応できなければそれだけ信頼を失うことになるので、現状としては掲示板の開設はしない。2人ぐらい増員すれば対応できるかも。

(中西委員)繁忙期にその2人分の給料を行政支援することの検討も必要。足りない部分をフォローしていけばよい。韓国には VANK というボランティア組織がある。フィルターをかけて実施すればできるのでは。

(21 総研/佐藤) ボランティア団体にもこれからいろいろなかかわり方がある。ボランティアの活用ができればと思う。

(深山主幹) 観光振興計画の施策体系図について、基本コンセプト、サブタイトル、基本目標、5種の癒しの展開、具体プロジェクト項目、取組事業はリンクするような体系図を作成されたい。また、到達目標の前に現状と課題を追記すると共に、取組事業が全て並列になっているので、6年間の計画期間中で1年次、3年次、最終年次、以降の時系列優先順をつけて並び替えると行動しやすい。また、現在行っている観光事業も取組事業中に掲載して、この計画での位置を明確にすることも必要。

(宮下会長)他に意見は。

【なしの声あり】

(宮下会長)以上の意見を反映して修正願う。

(21 総研/町)了解。

(宮下会長)「2 その他(今後の進め方)」について、説明させていただく。

(深山主幹)レジュメにより説明。

(宮下会長)以上で審議会を終了する。

以上終了